

初開催・八方ヶ原ヒルクライムレース



八月十日(日)雨の中開催されたが、天候不順のため、ゴールを山の駅に変更。トップの記録は28分26秒だった。

かわら版では、矢板で初開催となるこのレースの前に、出場選手の生の声を聞こうと、レースの三日前に、練習している選手を探して八方ヶ原まで車で向かった。

●一番先に到着したのは今年から那須ブラーゼンに入ったプロのサイクルロードレーサー

の、小野寺玲選手(十八歳)。招待選手なので記録は付かないそう。今朝、鹿沼市から矢板市まで自転車であつたという話にびっくり。

二番目に来た選手は、高校三年生(十七歳)。宇都宮ブラブリッツェンに入っている。今回のクライムレースには出場しないが練習のために来ていた。

三番目は小野寺選手の弟で同じ宇都宮ブラブリッツェンに所属の中学二年生(十三歳)の慶選手。八歳から自転車に乗り始めて五年の経験はあるが前回の

練習タイムより悪かったと残念がっていた。将来はツールドフランスに出場したいと大きな夢を全身汗びっしょりで熱く語ってくれた。

【記者のコメント】

見ているのがつらくなるほど大変そうだったが、三人とも、「のどがかわいた」とは言ったが、「疲れた」など弱音を言わなかったのは超感動。大きな夢を実現させてほしい。なぜこんなつらいことをの質問に「私たちの性格はDMなんですよ」の一言にドキ!

参加者の声

- ★悪天候のため、あまりタイムは良くなかったが、来年もぜひ参加したい。(埼玉県・四十代男性二人組)
- ★群馬でも自転車レースはすく盛んになってきた。日本各地でレースが多くなってきているので、できるだけ参加したい。(群馬県・男子中学生※すくく日焼けしたスリムな男の子)
- ★始めたばかり、那須と今回で、回目、スタート直後の坂がキツかった。(男性)
- ★宇都宮の自転車店主の催のレースに時々参加している、このコースは坂がキツイが、変化があり楽しい。(宇都宮市・女性)
- ★他のコースに比べ登りの坂がキツイ、その分面白い。(埼玉県・男性)
- ★天気が良ければ景色が良いと思う。坂がキツイので面白い。大間々までの八方ヶ原コースを走りたい。(男性)



真夏の雪に大はしゃぎ!!



かわら版おばちゃん記者のふるさとまつりレポート

◆すごい、どこに行っても目付付いたボスター。さほど大きくはないが、「夏」の文字が印象的で、不思議とインパクトがあった。

八月十六日のふるさとまつりに参加。立派なやぐらも出来ていた。特に、今回は、子どもたちに良い思い出を持って欲しいという心積もりが入っていた。

◆雨の心配をよそに始まり、楽しいイベントが盛りだくさん。夜の軽トラ市を初め、真夏の

の雪遊び(そりすべり)、歌うまコンテスト、遊具や金魚すくいなど。中でも自分にとって初体験の雪遊びと踊りが興味をそそられた。

◆午後三時、春の軽トラ市で大好評だったAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」の音楽が鳴ると、「え〜!」どこからともなくステージ前に大勢の人々が大集合。この雨の中、どこにいたのだろうか?

◆次の妖怪ウォッチ、ジバニャンショー「よ

うかい体操第一」は初めて見したが、大フィーバー、本当に驚いた。その後は、左テントに大移動。「ジバニャン」キャラクターとの握手と撮影会がまた大盛況。「次世代ポケモン」と言うそう。

◆悪天候にも関わらず最後の「矢板音頭」まで多くの人が参加し、本当に矢板がひとつになつて楽しい夏の夜を過ごせたと思う。来年も大いに期待したい。(M・W)

こんな事が

会場でインタビュをしていて、一人の男子中学生と話ができました。三年生で個人で申し込み、会場づくりボランティアに参加したそうです。

将来の夢は、プログラマーになって矢板で仕事をしたいとの事でした。ほっこりうれしいひと時でした。希望の光バンザイ!